



新年度に向けて新たな一歩を

◆ 2023年を終えるにあたって

2023年はウクライナや中東の情勢が長期化・泥沼化するなか、不透明な時代でした。一方で、大リーグでの大谷翔平選手の躍進は新しい可能性を示しました。2023年も終わりに近づき、受験生である3年生には大いなる挑戦が待っています。新たな時代を切り拓く存在となることを信じ、飛躍の年となることを切に願います。

◆ 新年に願う

古来、人間は一方向的な時の流れに暦（こよみ）で区切りをつけ、「未来に備えるための時間」としての意義を宿してきました。1年の計は元旦にありと言うように、清廉な年の初めは心新たにスタートする絶好の機会です。

1年生の皆さんにとって、今年の大きな出来事は高校入学であったかもしれません。昨年の今頃は中学校の懇談会で高校入試を話題とし、3月には入学試験に挑みました。そうして自分の意志と努力で勝ち取った本校への合格は、皆さんに自信を与え大きく成長させました。入学後はタブレット端末を使用した学び、模擬試験、文理選択など多様な学習が本格化し、今年度は残り3ヶ月を迎えています。いま、2年生となる新年度を前に、ここで高校入学当初の期待や抱負を思い起こし、あらたな決意で新年を迎えましょう。

2年生の皆さんにとって最終学年となる新年は、誰にとってもさまざまな労苦が待ち受けています。課外活動をはじめ、生徒会活動、そして教科学習は大詰めを迎えます。自分の人生の方向を自分の責任で定めていく、とりわけ重要な1年間がはじまります。皆さん一人ひとりのもつ感受性と理想とを胸に、たくましく歩むことを願っています。

◆ 12/28（木）～1/8（月）冬季休業【12日間】

まず、まとまった休業でしっかりと心と体を休め、新年の英気を養いましょう。そこから生まれた活力を、学力の回復と伸長に活用しましょう。三者懇談や11月模擬試験の結果から、自分がいま取り組むべき教科・分野などを考えてみましょう。

【冬休みの過ごし方のポイント】

- ・2年生は国語・数学・英語の総復習をスタートする。
- ・1年生は国語・数学・英語の苦手科目に時間をかけて取り組む。
- ・実力テスト、記述模試を目標に学習計画を立てる。
- ・課題は年内に終わらせ、苦手分野の学習を集中的に行う。
- ・規則正しい生活を心がけ、自己管理を徹底する。



保護者の皆様へ

懇談会へのご来校、ありがとうございました。大きな期待を胸に本校へ入学した生徒たち、その進路実現に向けて私たち教職員も精一杯努力して参ります。今後とも、保護者の皆さまにはご理解とご協力をよろしく願います。どうぞ よいお年をお迎えください。

1月の目標

共通	土曜日・日曜日の学習室を利用して考査、模試の準備をする
1年生	清廉な心持ちで目標を定め、新しい年をスタートする
2年生	共通テスト試験まであと1年！3年ゼロ学期を邁進しよう

◆始業式・実力テスト…1/9（火）10（水）

実力テストで気持ちの良い1年のスタートを切りましょう。

なお、1月4日（木）～8日（月祝）8:30～17:00は自習室使用可能です。

各学年の案内に従い、新年のスタートを学校で学習しよう！

◆サタデーセミナー…1/13（土）内容は各学年から連絡あります。

◆大学入学共通テスト試験…1/13（土）14（日）

本校3年生220名が、全国では約49万人（下表）が受験します。「共通テスト試験」は今回で4年目を迎え、国公立大の一般入試受験者（一部受験必須の私立大あり）は必ず受けなければならない試験であり、推薦や総合型選抜でも受験が必要な場合もあります。また、私大でもほぼ9割近い大学が共通テストの成績を利用した入試を行っているため、大学入試一般受験の受験生ほぼ全員が受験する国内最大のテストということになります（裏面参照）。翌15日には自己採点を行い、全国動向を見ながら国公立大学の出願校を決定します。いよいよ本格的な受験シーズンのスタートです。

【令和6年度大学入学共通テストの志願者数】

○志願者数 491,913人 対前年度比 20,668人減

高等学校卒業見込者（現役生）	419,533人（85.2%）
高等学校卒業生（既卒・浪人生）	68,220人（16.2%）

志願者は50万を下回り「ライバルが少ない入試に」と言われています?!

◆2学年共通テスト体験…1/15（月）

2年生は今回の共通テスト試験問題（英数国3教科）にチャレンジします（そのため、事前に新聞やインターネットなどで問題や解答は見ないでください）。この3教科の出題範囲の多くは高校1、2年生で履修済みですから、今回の目標得点率は50～60%としましょう。自分の現時点での実力を知り、これからの対策を練りましょう。大丈夫、いまならまだ1年間あります。

◆進研記述模試…1/20（土）

配布済みの合格ラインで志望校の平均SS・目標得点を確認しておくこと。



今月の3年生

全国模試をすべて終え、共通テスト試験まで約3週間！特編授業の成果が徐々に表れてきました。当日に向けた最終調整の時期、復習を中心とした最後の総仕上げに励んでいます。1・2年生のみなさんは、引き続き休み時間の移動などで協力をお願いします。全力の3年生に、全校を挙げてエールを送りましょう！

1月	
1月	○ 元日 閉庁日
2火	○ 閉庁日
3水	○ 閉庁日
4木	○ 校内共テ模試[3]
5金	○ 校内共テ模試[3]
6土	○
7日	○
8月	○ 成人の日
9火	▲ 始業式 実力テスト
10水	▲ 実力テスト
11木	
12金	
13土	○ 大学入学共通テスト サタセミ[1・2]
14日	○ 大学入学共通テスト
15月	自己採点[3] 共通テスト体験[2]
16火	
17水	◎
18木	A
19金	入力締切
20土	○ 小論文模試[3] 進研記述模試[1・2]
21日	○
22月	
23火	
24水	◎
25木	P
26金	
27土	○
28日	○
29月	
30火	
31水	◎

※印は自習室開放日

大学入学共通テストとは

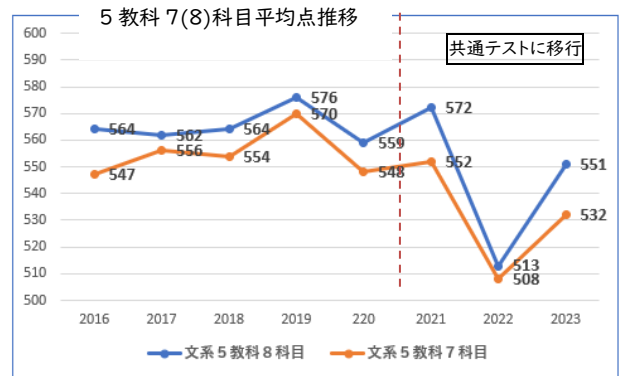
共通テスト（大学入学共通テスト）とは、センター試験に代わって2021年度から実施されている試験です。主な狙いとしては、高校生として基礎的な学力の到達度を判定することや、思考力・判断力・表現力など多面的に能力を評価することなどが挙げられます。

国公立大学を一般選抜で目指す学生は、原則として共通テストを受験する必要があります。また、私立大学の一般選抜においても、共通テストの受験成績を利用した「共通テスト利用（共テ利用）方式」を設定している大学が多くあります。志望校が国公立大学、私立大学に関わらず一般選抜を目指すのであれば、共通テスト対策は必要になってきます。

○ 2023年の共通テストの出題傾向の特徴は

◆読解力重視！高速の情報処理能力が問われる

共通テスト導入以降、教科や科目に関係なく、知識の暗記よりも知識を駆使して複雑な問題に迅速に対応する能力が求められている。複数資料や図表・グラフの活用、思考力・判断力、読解力が強調され、情報処理速度も要求される。共通テストでは問題文がより長文化し、対話文形式の問題も増加しており、これが顕著な傾向となっている。



◆平均点はアップしたが、生物など難化した科目も

2023年度の共通テストにおいて、5教科7科目では文系では24点、理系では38点の平均点上昇が見られた。理科②で物理と生物の平均点差が20点を越え、2年ぶりに得点調整であり、共通テスト史上2回目の調整となった。主な平均点は9科目が上昇し、10科目が低下した。昨年度難化した数学IA（+17.7点）、数学IIB（+18.4点）、日本史Bが大幅にアップ。数学の誘導が丁寧になり、計算量の減少が影響した。ただし、英語リーディング（-8.0点）、政治経済、国語は平均点が低下した。生物は得点調整後も過去最低。文系型と理系型に共通する基幹3教科（国語、数学、英語）の平均得点点は339点（得点率56.5%）と前年よりも26.8点もアップし、2年前に近い水準に戻った。

共通テスト 3年目の特徴

- ▶ 問題文がさらに長文化する傾向
- ▶ 対話・会話型の出題が増加
- ▶ 高速の情報処理能力がますます重要に
- ▶ 国公立大2次のレベルの出題も
- ▶ 理科②で得点調整が行われた

○ これからの受験生がすべき共通テスト対策は

共通テストで安定した得点を獲得するためには、その試験独特の問題傾向に対応した対策が不可欠です。日常の学習においても、以下のポイントに留意してください

◆「なぜそうなるのか」を意識

共通テストでは、センター試験と比較して単なる知識や暗記だけで解ける問題は減少し、知識を活用して問題に対処するスキルが強調されています。「学力の土台となる基本的な知識」を習得することが不可欠であり、それを様々な状況で実践できるようになることが肝要です。単なる暗記に頼らず、「なぜそうなるのか」という本質的な理解を徹底的に深めることが求められます。

◆素早く情報を処理する力を強化

共通テストでは、思考力や判断力と並んで、多様な情報を迅速に処理するスキルが要求されています。そのためには、制限時間内で長文から必要な情報を迅速に抽出し、多面的で多角的な視点で解釈し、内容を比較・要約するスキルが必要です。解答を最後まで進めるための戦略を独自に構築できるようなトレーニングが肝要です。

◆授業を主体的に受ける

共通テストでは、日常生活や授業の場面を題材にした問題が多く出題されます。問題の中に登場する状況をメモや要約し、意見を整理する活動は、皆さんが普段から授業中に実践しているスキルに関連しています。授業を受ける際は、受け身ではなく積極的に参加し、知識を活用し、思考力や判断力を向上させるよう努めましょう。



TanQ -8-

その世界はキミのものだ

「自分、どこから来たん？」

天気の良いくない夏の朝で、あたりは薄暗く。ぼくはたぶん乗り換えの電車を待っていた。

ぼくにそう話しかけてきたのはなんと危険そうな雰囲気漂わせた3人組で、年齢は自分と変わらず、高校生くらいに見えた。ぼくはと言えば、まあ「どうしてこうなった」とひたすらに頭を抱えていた。脂汗ダラダラで。

今となってはこの駅がどこだったのか思い出せない。この旅行で、ぼくがどんなルートを通ったのかももうおぼろげである。が、このエピソードだけは覚えている。たぶん、良いか悪いかは迫いといてあれはぼくだけの強烈な経験だったからだと思う。

旅行の行程立てが好きで、自分の旅程が一本道につながると「さあ旅だ」と、高揚感でワクワクする。一方で、これを何度か経験していると当日以降はもう予定通りに移動していくだけの、なんていうか消化試合。どっちかっていうと義務的な行動に感じられるようになっていく。これをこじらせると、なんならスケジュールを作った段階で旅をする気が失せるという状況にすらなることがあり、こうなるともう病である。しかしちょっと考えてみてもらいたいんだけど、この旅程はとても無機質なものだが、今後どれだけ世の中が便利になろうとまさか旅程立てをした瞬間に「四国のどっかの駅で地元の高校生に絡まれて怖い目に遭う」とかそういうものが予期されることは絶対無いだろう（っていうかそういう方向に進化したらぼくは旅行になど出かかず、家で布団かぶって震えている）。ぼくは出かけさえすればおそらくぼくだけの旅行を経験するということになっていくはずなのである。

今年度の1・2年生合同の探究学習発表が無事に終了した。2年生の中にこんな疑問に駆られた人はいないだろうかあるいは1年生は来年駆られるかもしれない。「こんなのもう誰かが調べているんじゃないの？ 意味あるの？」という疑問だ。

ただまあ安心してほしい。1年間の自分を振り返ると（ぜひじっくりとだ）、そこに必ず自分だけが為し得たのアプローチとその結果、そして自分だけのエピソードってやつが残ったのでは無いかと思う。それはキミだけの財産だから大切にしてほしい。一年間、お疲れ様でした。